

平成28年度『学校関係者評価書』

様式 5

		評価項目	評価委員会からのコメント
学校全体の様子	1	教育目標・方針	機会が有る折に説明が有る。「よくあてはまる」「ややあてはまる」をあわせると、児童83.5%・保護者92.0%となり、学校の教育目標を共有できていると思います。但し、「よくあてはまる」が教員との開きがあるのでPRする機会をさらに多くする方向でお願いします。児童の13.1%画あまりあてはまらないとしているため、よりわかりやすく説明が必要。
	2	児童・生徒の様子	声をかけると素直に返事が返る。児童は楽しい学校生活を送っていると評価しているが、児童と保護者とのコミュニケーション不足により、児童の姿を理解していないという結果に現代の保護者の一面を見ることができると思います。児童は明るく元気に挨拶しており、学校・地域全体で子供を守る姿勢がある。児童の評価が良いが、教職員の40.9%がややあてはまるとしている点が気になる。
	3	基本的な生活習慣	時々街で声をかけてくれ、挨拶してくれる。保護者の17%が否定群。挨拶がまだ課題みたいですね。基本的な生活習慣はまず家で教えなければいけないと思います。「できないから学校や社会で…」ということなのでしょう。なぜ挨拶をするのか、どうして挨拶が必要なのかを保護者が児童に教える機会を提供してみたいかでしょうか。保護者の解答が低いので、まず家庭内での挨拶の習慣を身につけることで、外へ出て挨拶ができるようになる。まずは家庭の課題と思う。保護者に向けた発信が必要。一緒に取り組んでほしい。
	4	児童・生徒理解	運動会・音楽会などの発表会で感じる。児童達の良さや努力している姿を、大人が認めてあげることが大切であると思いますので、潜在している能力をより一層引き上げてください。家族での会話や教師による声かけや励ましにより、子供は自分自身の価値を知り、自己肯定感を育て、他社の存在の尊さに気付くことができ、心身ともに健やかな子供に育つ。保護者・学校・地域の環境を良好に保つことで項目③、④、はより向上するよう思います。教職員の取り組みが児童に浸透していないように思われる。
	5	健康・安全・安心	全ての項目に置いて、保護者の低いのは、親子のコミュニケーション(会話)が不足しているのではないかと思います。健康、安全、安心では「よくあてはまる」「ややあてはまる」で96.8%の保護者が充実していると評価しておりますので、今後も引き続きよろしくお願いします。児童はもちろん、保護者にもほほ理
学力向上の取組	6	分かる授業	学力向上の⑥～⑩は、児童の9割が肯定群で学校の指導が良いと思います。楽しい授業、わかりやすい授業で90%の児童があてはまるとしている。しかし、10%の児童がたのしいと感じていないようなので、授業は楽しいものであることを教え続けてください。教職員の54.5%がややあてはまるとなっているのはなぜか。
	7	個に応じた指導	学力向上の取り組みにおいて、児童・保護者・教職員の評価が、他の項目と比較して低い評価が多いのが気になります。習熟と別学習は、個々の子供への学習意欲を高めていると思います。何よりも子供自身が学習に意欲的に参加している姿勢があり、個別的・補完的にも指導が行き届いているため、ICT活用や図書館の活用なども定着してきている。勉強が“できる・楽しい”と思えるようになると自信をもって学校生活を送れるので、今後も維持していくと良いでしょう。
	8	学習習慣	保護者は補習することで学習を理解することが出来、学習習慣が身につけていくと感じているので、よりわかりやすい環境をさらに工夫していただけたらと思います。⑦、⑧と保護者と教職員の評価が違うのは理解不足なのか…
	9	情報教育	機器を使用した教育が児童には浸透していることがこの評価に表れていると思います。児童・保護者の一定の理解が得られている。
	10	学校図書館の活用	学習するにあたり、図書館を利用している児童が多数いることは、学習に対する意欲が湧いているとの評価の表れである。素晴らしい成果と思う。
社会性・人間性の育成	11	人権教育	外で見る子供達は元気で仲よし。⑪～⑬は児童・保護者の中に否定群が少数ありますので、まだ努力する課題があるかも。豊かな人権感覚を育てる教育を行っていると思っている児童が「よく・ややあてはまる」をあわせると94.4%いるということは評価すべきである。保護者の理解を深めることが必要。
	12	道徳教育	道徳授業などの講演会良いと思います。規範意識を育てる等、尊徳性を育む教育を行ってはいるが、もう少しなぜ同指摘範囲式を持たなければいけないのかを再構築してみることで意識が高まるのではないのでしょうか。児童の評価が気になる。教育方法等検討が必要。
	13	教育相談	集団の中で一人一人の児童の相談を傾聴することは時間的に困難かもしれないが、SOSを発信しそうな、または発信している児童達に対して、より一層傾聴して頂けたらと思います。先生方は、日々の業務が忙しい中で一人一人と話をする時間はなかなかもないと思うが、保護者にも教育相談の取り組みを周知することで理解されるのではないのでしょうか。良い人間関係が築けているということは、相談すること自体がないと捉えることもできるでしょう。児童・保護者ともに評価が気になる。対応の検討が必要。
	14	人間関係づくり	児童達が良い人間関係を築き上げていることがうかがわれる。また保護者も同様に学校の教育活動に97.9%の方が評価している。子供達の多くが学校生活を通じて良い人間関係を築けていると感じているのは素晴らしい。
	15	自治的な活動	児童が自発的に自治的活動を行っていることを保護者も認識しているため評価も高い。⑭、⑮ともに児童・保護者の評価が高く一定の理解が得られていると思う。
保護者・地域との連携	16	情報発信	尾久六小だよりなど楽しみです。活動の様子をきちんとPRしていることは素晴らしいが、さらに教育活動の様子をわかりやすく知らせていくと良いのではないですか。ホームページも新しく見やすいので良いと思います。児童・保護者の評価が高く一定の理解が得られていると思う。
	17	相談への対応	適切な対応に関しては、より一層取り組み、ここの相談をきちんと把握し進めて頂けると良いのでは無いかと思います。教職員の対応と保護者の評価に差があるため、より一層の発信が必要。
	18	学校への参加	学校側が児童の学習様子を参観しやすいうように設定しているにもかかわらず、半数の保護者が「よくあてはまる」としか評価して頂けないのが残念である。土曜日の公開授業の設定や運動会、オータムコンサートなど、地域の方も見て楽しめる行事があり、開けた学校作りができている。三者の評価が高く、理解を得られていると思う。
	19	地域との連携	⑰⑱は良い方向をお願いします。町会に係る立場として、児童が地域の行事に参加しやすいうように努力します。地域の表示への参加ができていると思う児童が44.4%司会内のが少し残念である。保護者への周知が必要かも…
	20	意見の反映	学校と家庭(保護者)との信頼関係の絆をより強く築くことにより、話し合いのしやすい環境となると思います。保護者の項目が低い、子供のことを相談しやすい環境を作ること保護者との信頼も生まれ、良い関係が築けるでしょう。教職員と保護者の評価が大きく異なり検討必要。
各学校の特色ある教育	21	学校行事の取り組み	金管バンド・運動会・オータムコンサートなどとても楽しませて頂いております。日頃の学習などが学校行事に生かしていると児童及び保護者が感じているので、よりよい環境を継続して行ってください。学校行事に主体的に参加しており、保護者も子供の姿を理解できているので尾久六小の特色有る取り組みを支持しているとみられる。三者の評価が高く、理解が得られていると思う。
	22	基礎・基本の定着	⑳～㉔概ね児童・保護者に理解されているみたいですね。一人一人の児童が基本の力を身につける学習に取り組んでいると評価していることは素晴らしいです。児童の評価が高く、有効な取り組みと思う。
	23	調べ学習の取り組み	トレジャーランドの活用で、児童の20%が馬田うまく取り組まれていないようですね。情報センターの活用が十分生かすことができていると児童達が感じているようなので、その活用方法を再度学習へ取り込むようにするにはどうしたらいいか、児童達と話し合う場の設定を。トレジャーランドの活用は浸透までにもう少し時間と周知が必要だと思われるが、全体として子供も保護者も支持が高いので、今後も継続して行ければより一層良くなるでしょう。児童と教職員の評価が異なり、より一層の指導が必要かも。
	24	異学年交流の推進	全体的に見て児童はよく宛はまるで肯定しているが、保護者はやや当てはまるの評価が多いようだ。項目によっては児童の10%～20%が否定的であった。異学年交流は、学校生活を楽しくしてくれていると感じている。また、保護者の方々も94.5%の支持を得ている。三者の評価が高く、成果は大きいと思われる。
	25	学校公開の工夫	授業公開にタブレットなどの授業を拝見したいです。61.1%の児童が「よくあてはまる」さらに「ややあてはまる」24.7%合わせて85.8%の児童が工夫していると評価している。保護者は双方で94.2%の評価である。一定の成果・理解がされていると思われる。